

(様式2)

2020年度 教育活動活性化提案事業 実施結果報告書

2021年 3月 31日

福岡女子大学学長 殿

申請者 所属名 国際文理学部 共通教育機構  
 職名 講師  
 氏名 田上 優子



事業名 (テーマ)	グローバル教育を実生活に直結させるプロジェクト「実感 FWUユニーク」 <input type="checkbox"/> 文理統合 <input checked="" type="checkbox"/> 国際性 <input type="checkbox"/> リーダーシップ <input checked="" type="checkbox"/> 伝統・歴史・感性 <input type="checkbox"/> その他 ※いずれかにチェック☑を入れてください。		
事業実施者及び 事業分担者	金光 真美(ラーニングcommons) 大瀧 麻耶(図書館)	大学院生及び 学外協力者等	
<p>活動内容及び成果(必要に応じ資料、写真等を添付すること)          ※この欄の記載は、大学ホームページ等にそのまま掲載する予定です。</p> <p>(活動内容)</p> <p>机上で学んだ語学力を、より具体的に、実感をもって活用していける場づくりをめざし、学内他部署とも連携をはかりながら、グローバル人材の育成に寄与することを目的に以下の活動をおこなった。</p> <p>I. “アクティブ”英語勉強会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「英語が楽しくなる時間」下記2クラスを10月より毎月開催した。          がんばる英語勉強会(月半ばの1日:オンラインで実施)、たのしみ英語勉強会(月末の1日:対面で実施)</li> <li>2) ランゲージ・カフェのLINE公式アカウント費用についての援助          ランゲージ・カフェの、通常回140回、イベント回11回の開催を経済面で支えた。</li> <li>3) 招聘講師による講演会・イベント          2020年9月23日 廃校寸前の離島の高校を救った豊田庄吾氏と語る「教育の未来、先生の未来」</li> <li>4) 同窓ネットワークの活用          2021年3月7日 卒業生のZoom対談(2015年卒・鳥居敦美さんと2019年卒・真栄田夢歌さん)</li> </ol> <p>II. 文化体験ワークショップ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2020年11月26日 水引ワークショップ「新しい年を迎えるための結びと折形」(講師:内野敏子氏)</li> </ol> <p>III. “ユニーク”TOEIC講座</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) TOEIC講座(各開講毎に3日間の受講コース)           <ol style="list-style-type: none"> <li>① 2020年6月開講11名</li> <li>② 2020年10月開講6名</li> <li>③ 2021年1月開講7名</li> </ol> </li> </ol> <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) オンライン学習会は1回につき5名以下の出席者だったが、寮から1年生の参加もあった。また、2月の開催回には、英語翻訳・通訳・大学教員を兼務する卒業生のゲスト参加もあった。場所の制約がないオンラインの催しは、多様な参加者を組み込むことができる点でゲスト参加なども呼びやすく、今後も改善しながら継続が可能だと思う。          対面学習会は、感染対策上、たびたびのPRをできかねた事情もあり、結果として図書館スタッフのための勉強会となったが、前年度までのものを引き継ぐ形で、テキスト(English for best Hospitality—ホスピタリティの英語(英宝社))1冊を終了することができ、有意義であった。</li> <li>2) ランゲージ・カフェのLINE公式アカウント費用についての援助          コロナ禍によりオンライン化されたカフェを支えるべく、利用することとなったLINEの公式アカウント…学内メールではなく、このシステムを使うことで、リーダーたち自身が準備を整えたい、即時で発信できたため、参加の反応も得やすく、大変有効であった。月額5,500円×10ヶ月</li> <li>3) 招聘講師による講演会・イベント          「教育の未来、先生の未来」→16名参加。</li> <li>4) 同窓ネットワークの活用          卒業生対談は、教職員の参加もあり、合計35名が参加。登壇者の話に刺激を受けた在学生複数名からの反応が直後よりあり、大変盛況であった。このように在学生にとっては社会人の身近なロールモデルの卒業生との交流は重要で大いに意義があるといえる。また、卒業生とのネットワーク拡大は大学を発展させる不可欠の要素であることから、このようなイベントの定期開催は今後も必要であると再認識できた。</li> </ol> <p>II. 文化体験ワークショップ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>水引ワークショップ「新しい年を迎えるための結びと折形」参加者16名。日本文化を学び発信する四季折々の企画は好評であるため、今後も留学生や教職員が参加できるイベントとして継続していきたい。</li> </ol> <p>III. “ユニーク”TOEIC講座</p> <p>TOEIC講座(各開講毎に3回の受講コース)</p> <p>TOEICの試験自体がオンライン受験の形式でおこなわれるようになり、受講する学生も1年から4年まで多様であった。TOEIC試験について認定資格をもった講師による講座の事前指導から講座後のフォローアップまでの手厚い指導により、いずれの受講者も30点から100点以上のスコア上昇があった。</p>			